

WILEY

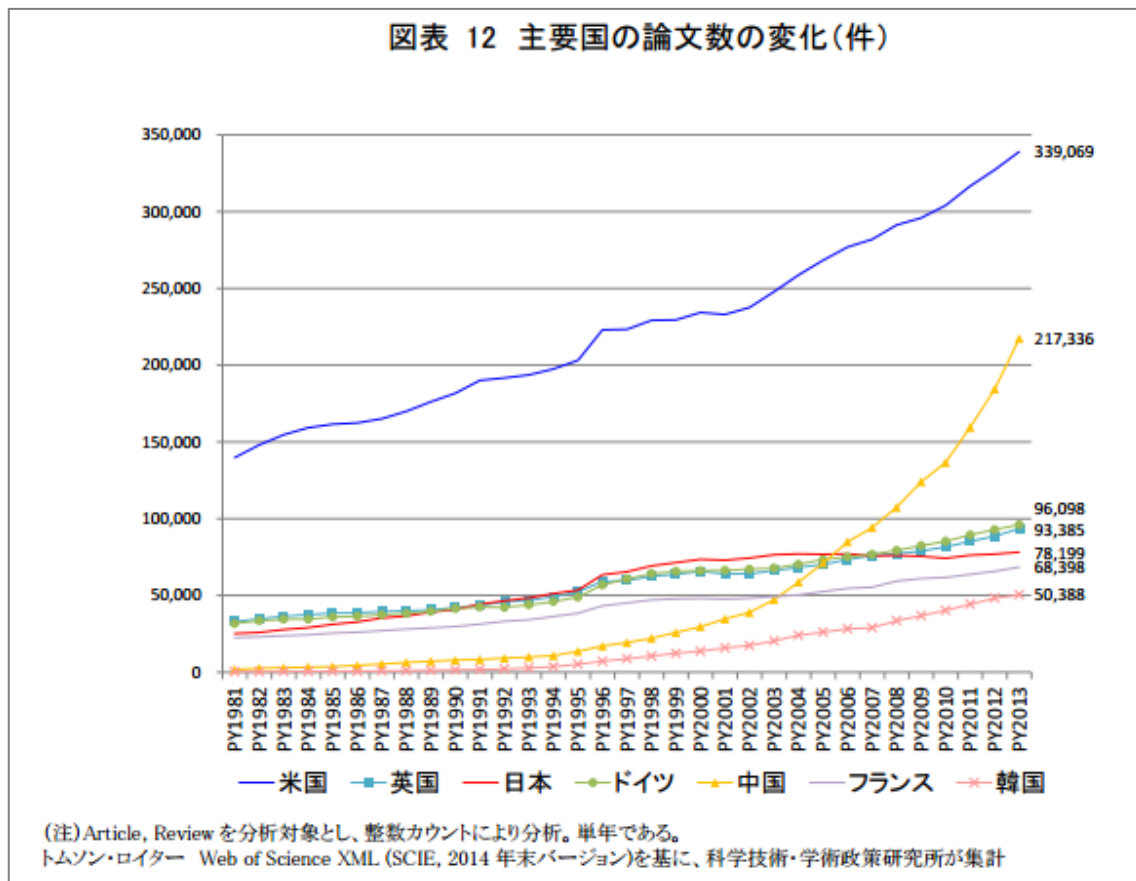
データから見る日本の研究成果発信

ワイリー・ジャパン シニア・マーケティング・マネージャー

岩崎 治郎

日本の研究成果発信

アウトプット（論文生産数）については多くの分析あり



論文の利用（読まれ方）についてはどうか？

「科学研究のベンチマーキング2015 -論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況-」 2015年8月、阪 彩香、伊神 正貴、文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術・学術基盤調査研究室、p. 18より引用

日本の学会誌の利用状況

- 利用は増えているか
- ジャーナル全体と比べてどうか
- 国内・国外のどちらで読まれているか
- 分野による違いはあるか
- 会員向けアクセスの利用状況は

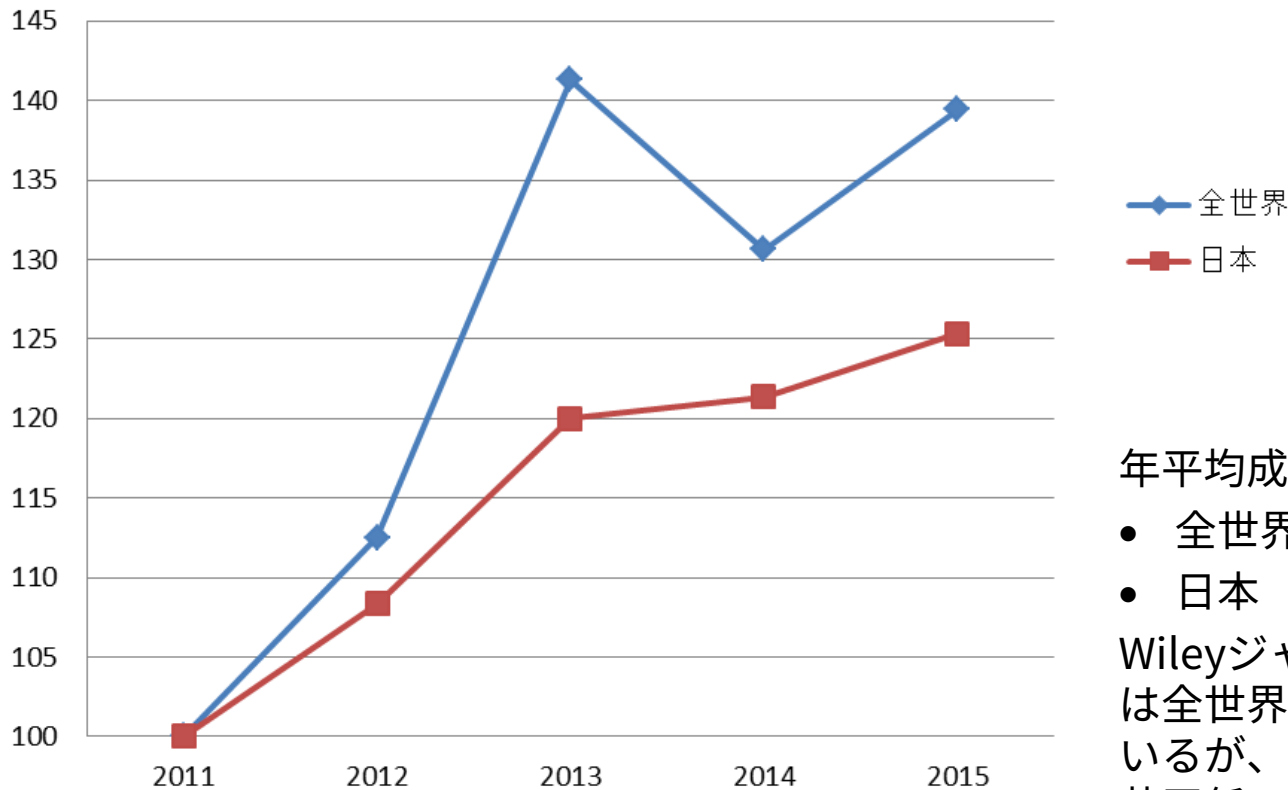
Wileyが出版する 日本の学会誌を例に

対象： 計46誌

医学・保健科学	26誌
生命・地球環境科学	12誌
人文社会科学	8誌

1. Wileyジャーナル全体の利用 (論文ダウンロード) の伸び 全世界 vs 日本

Wileyジャーナル全体の論文DL数の推移 (2011年=100)



年平均成長率(CAGR)

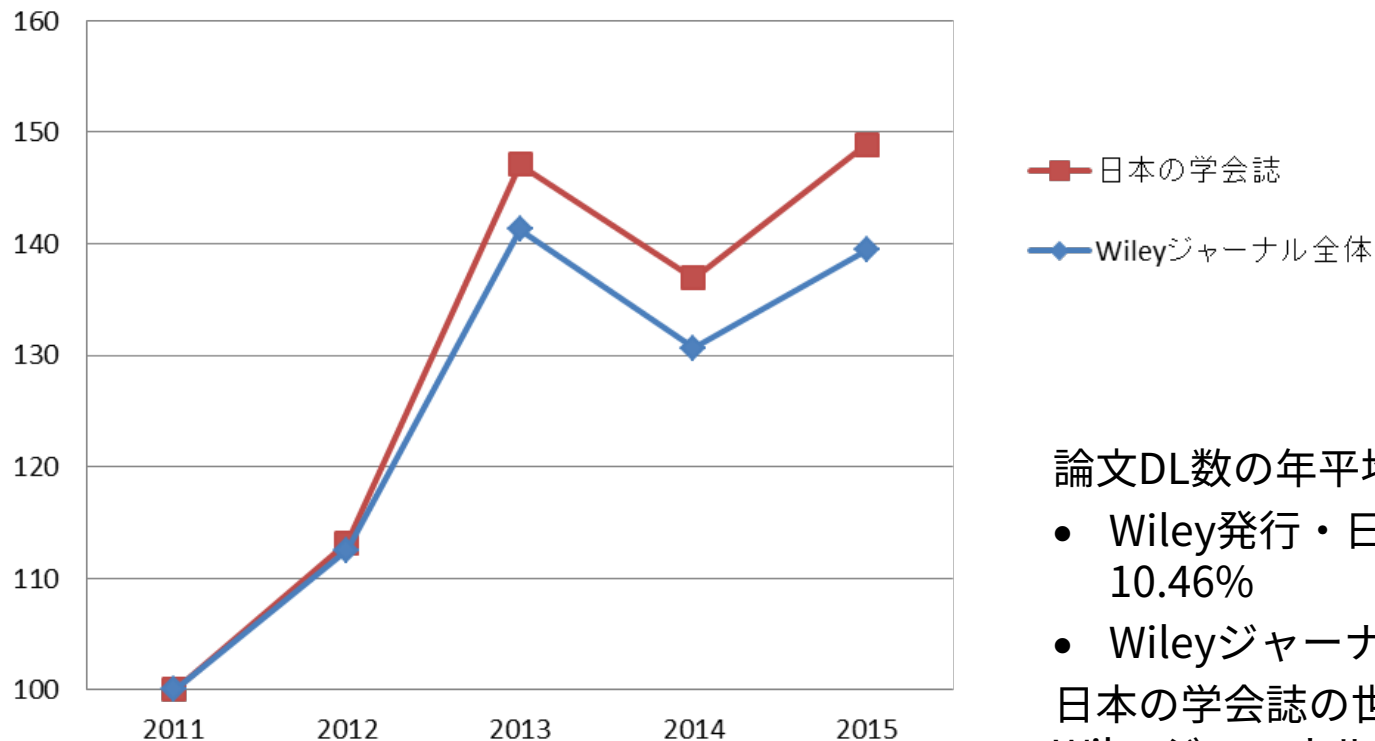
- 全世界 8.67%
- 日本 5.81%

Wileyジャーナル全体の利用は全世界・日本とも伸びているが、日本は全世界より若干低い成長率

2. 日本の学会誌の利用は増えているか

Wiley発行・日本の学会誌の 論文DL数の推移(全世界)

(2011年=100)



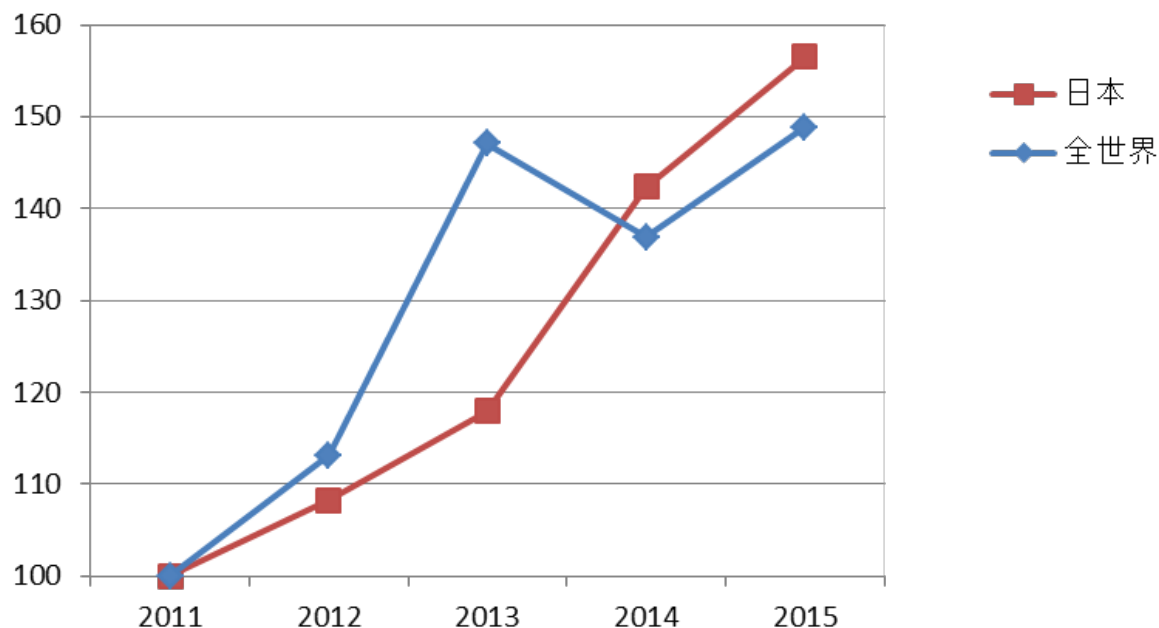
論文DL数の年平均成長率

- Wiley発行・日本の学会誌 10.46%
- Wileyジャーナル全体 8.67%

日本の学会誌の世界的な利用は
Wileyジャーナル全体より若干
高い成長率

3. 日本の学会誌の利用増は 国内・国外どちらに起因するか

Wiley発行・日本の学会誌の
論文DL数の推移(全世界vs日本) (2011年=100)



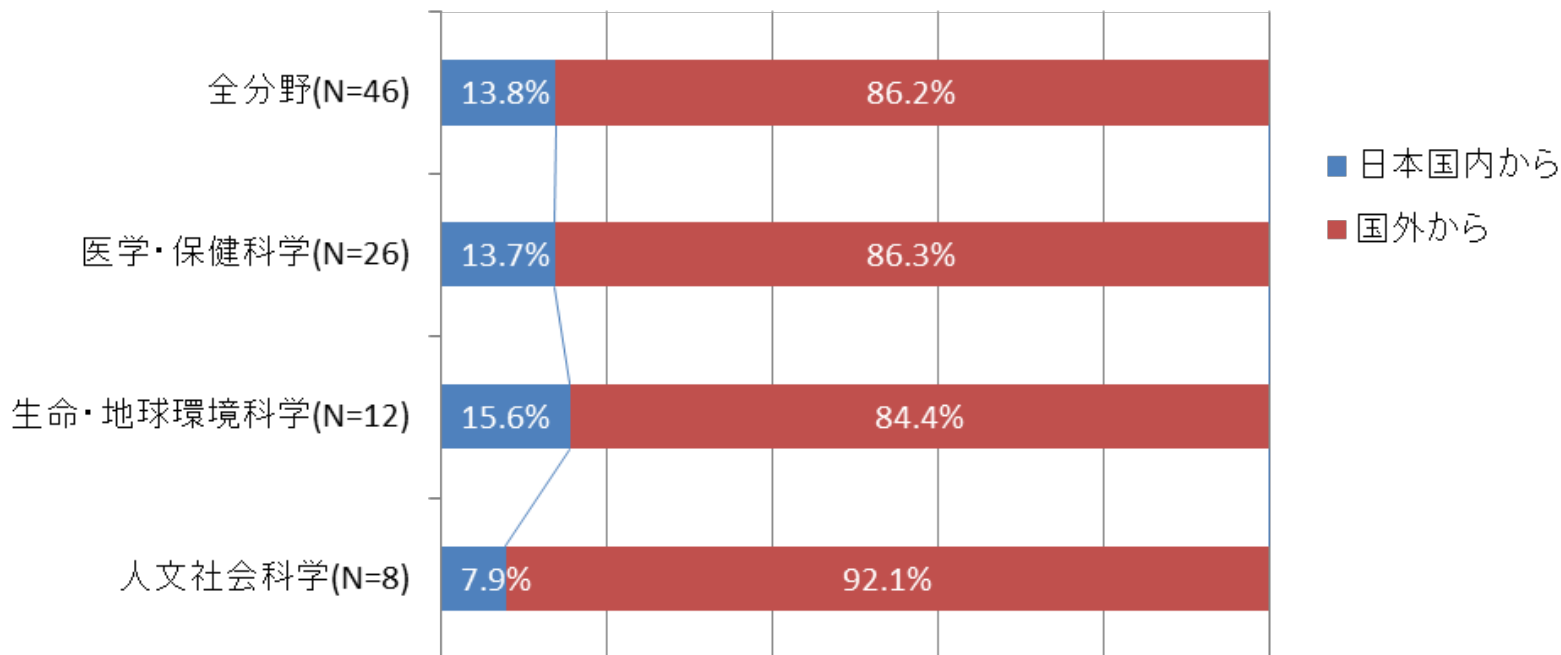
年平均成長率

- 全世界 10.46%
- 日本 11.85%

Wileyが発行する日本の学会誌の利用は、国内・国外ともほぼ同率で伸びている

4. 日本の学会誌の国内・国外での利用度に分野による違いはあるか (1)

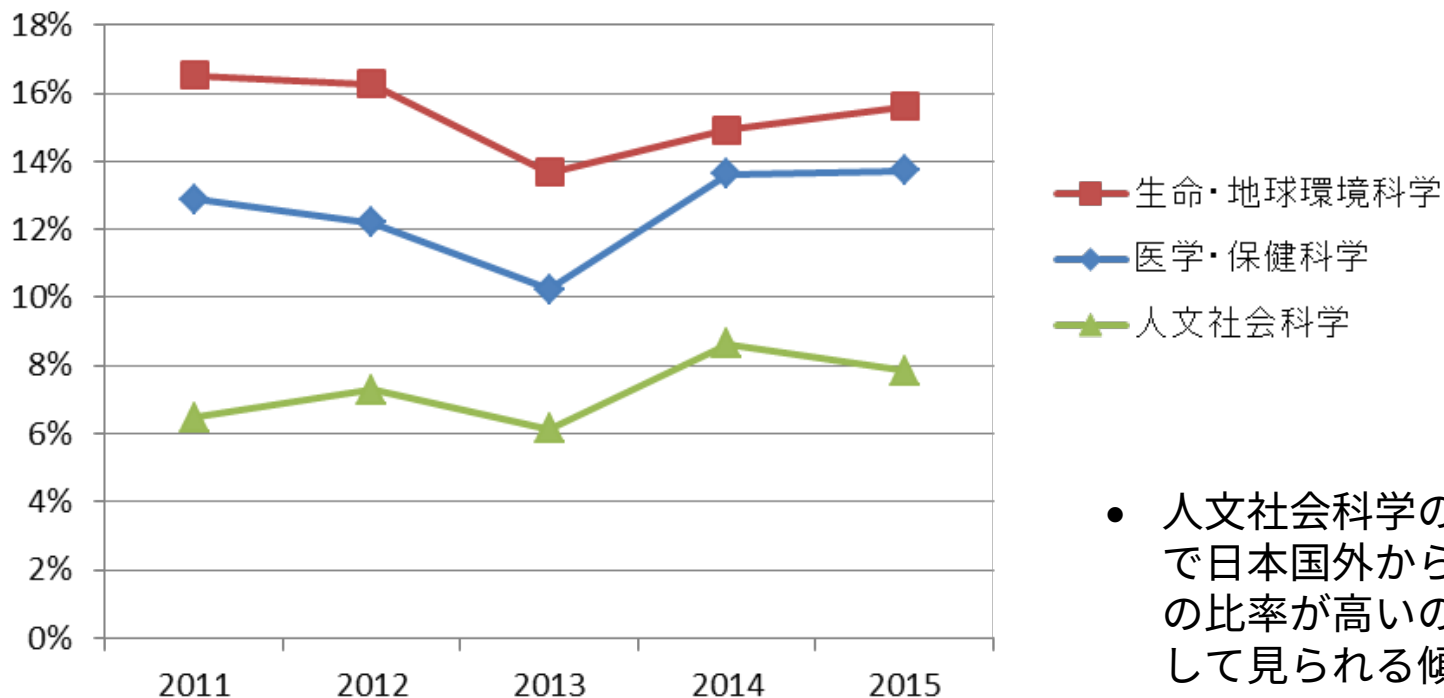
Wiley発行・日本の学会誌
論文DL数 国内・国外比率(2015年)



- 国外からの利用の比率が最も高いのは人文社会科学の学会誌
- 2015年だけの特殊な事象か？

4. 日本の学会誌の国内・国外での利用度に分野による違いはあるか (2)

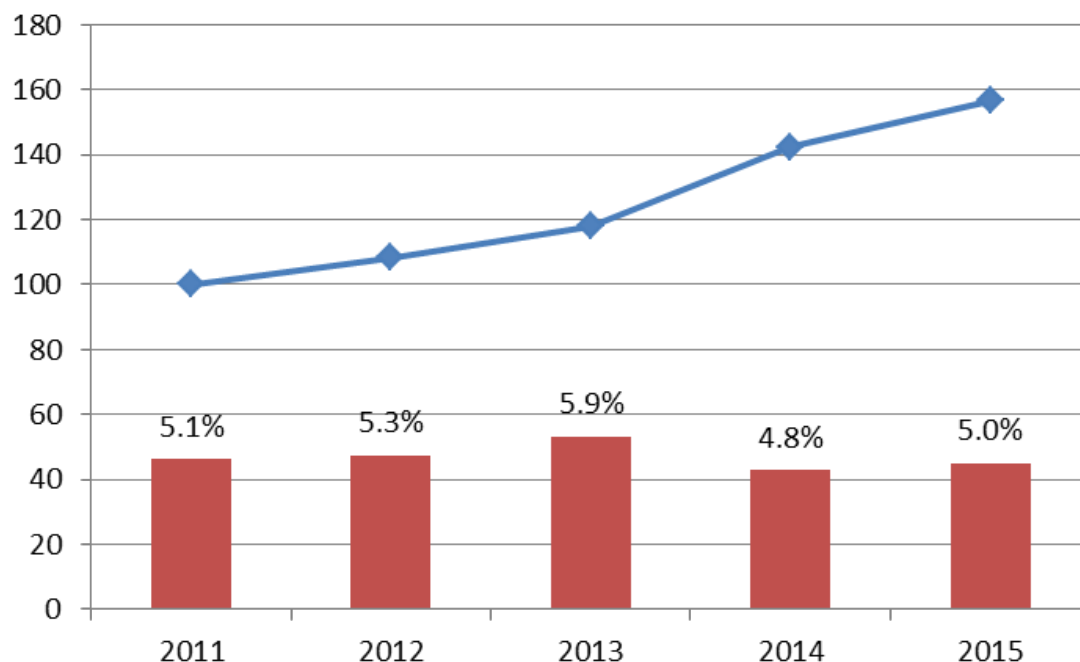
Wiley発行・日本の学会誌
日本国内からの論文DLの比率



5. 会員向けアクセスはどのくらい利用されているか

Wiley出版・日本の学会誌
国内からの論文DL数に占める会員アクセス

(2011年=100)



◆ 日本国内からの論文DL数
■ うち会員アクセスの比率

- 日本国内からの利用のうち、会員アクセスが占める割合は約5%でほぼ一定
- ジャーナルによるばらつきが大きい(1%未満~50%強)

まとめ

- Wileyジャーナル全体の利用は日本でも増加しているが、全世界平均より成長率は若干低い
- Wileyが発行する日本の学会誌の利用は、全世界ではWileyジャーナル全体よりも若干高い成長率で伸びている。国内・国外でほぼ同率で成長している
- Wileyが発行する日本の学会誌の中では、人文社会科学分野で国外からの利用の比率が高い
- Wileyが発行する日本の学会誌で、国内からの論文DLのうち会員アクセスが占める割合は約5%で安定

資料の無断転載はご遠慮下さい。

(No reproduction or republication without written permission)

問い合わせ先： ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社
学会英文誌出版部

Tel 03-3830-1255

Email jtominaga@wiley.com